「四国の医療機関における電波利用推進協議会」の総会と勉強会を開催

四国の医療機関における電波利用推進協議会は、令和７年９月10日（水）、Web会議による令和７年度総会と勉強会を開催（21名参加）しました。
同協議会は、平成29年９月に設立し、四国の医療機関における電波利用機器の安心・安全な利用及びＩＣＴの実装・利活用の推進を図るための活動を展開しています。

○令和7年度総会

今回の総会では、木村協議会会長（愛媛大学大学院 医学系研究科医療情報学教授）の開会挨拶後、人事異動で交代した竹下参与（四国総合通信局長）から挨拶がありました。
その後、役員等の選任、令和6年度活動報告及び令和7年度活動方針が提案され、すべて承認されました。

【木村協議会会長】

【竹下参与（四国局長）】

○勉強会

勉強会では、講師として加納隆氏（滋慶医療科学大学大学院客員教授）をお迎えし、「医用テレメータ不感エリア対策と電波管理実践ガイドについて」と題したテーマで、看護師、臨床工学技士及び医療機関管理者・事務職のそれぞれの立場で押さえておくべきポイントを、わかりやすく、要点を絞った同実践ガイドについてご講演をいただきました。

【加納講師の講演の模様】

四国総合通信局は、今後も医療分野における電波の安全性確保や電波の利活用推進に取り組んでまいります。

（お問い合わせ先）　電波監理部　電波利用環境課（電話 089-936-5055）